

西暦2000年を迎えて



日立製作所 取締役社長

庄山悦彦

日ごろより「日立評論」をご愛読いただき厚く御礼申し上げます。「平成12年度の日立技術の展望」号をお届けするにあたり、一言ごあいさつを申し上げます。

西暦2000年を迎え、皆様は、これからの時代の変化に様々な期待をかけておられることと思います。日立に働く私たちも同じ思いです。世界はインターネットの普及や情報と通信の融合により、個人、企業、社会をネットワーク空間で結ぶサイバースペース時代に入っています。こうした中で、日立は、「製造業」の価値、例えば高い品質や生産性等を活かしつつ、さらにサービスシステムの提供を核としてお客様に貢献し、信頼される「ソリューション企業」へと質的・構造的に変革していきます。

また、日立は、金融システム、電力システム、交通システム等の社会インフラストラクチャーの飛躍的な効率化、インテリジェント化を確実に実現し、ビジネスから家庭まで幅広いお客様にとっての価値を創出していく、世界で最も信頼できるパートナー、すなわち「ベスト・ソリューション・パートナー」をめざしています。

この「ベスト・ソリューション・パートナー」への変革にあたり、日立の使命は、新しい時代に人々が切実に求めているものに、ビジネスを通して的確に答えていくこと、すなわち「便利で安心できる社会システムを提供していく企業」になることです。日立は、信頼性の高い最先端の技術・ノウハウを駆使し、これからも社会の基幹システムを支え続けます。特に今後は、社会の基幹システムを情報装備していくとともに、インターネット社会の新しい情報インフラストラクチャーや情報サービスに力を注いでいきます。

サービス事業については、お客様のインターネット利用がますます進む中で、日立はお客様のインターネット活用をサポートするソリューションビジネスを展開します。例えば、サプライチェーン・マネジメント、カスタマー・リレーションシップ・マネジメント、電子政府システムなどがその代表的なものです。また、新事業についてもインターネットサービスやITS（高度道路交通システム）、ESCO事業（エネルギーソリューション事業）、環境ソリューション、金融サービスをはじめ、ライフサイエンス、放送・通信システムなど様々な事業において、日立グループの総合力を結集し、早期に立ち上げていきます。さらに、研究開発投資、設備投資、資本参加、提携などについても、ソリューション提供企業への変革に向けて集中的に実施していきます。

時代の変化とともに技術やビジネスの形態がいかに変わろうと、お客様にとって真に価値あるものを追求し、製品、システムを使う方々の満足を通して社会に貢献していくという日立の姿勢は不変です。問題から決して逃げずに果敢にチャレンジし、日立が世界で最も信頼できる企業とだけいただけるように努めてまいりたいと思います。

皆様の一層のご指導とご支援を賜りますようお願い申し上げます。